

Ⅱ 拠点館事業

平成 29 年度 市直営事業実績

1 地域づくり支援

地域の多様な活動を担う人材育成や地域の諸団体と関係機関とのコーディネート、地域情報の収集・提供などを行うことにより、市民自らが地域課題に向き合い住み良いまちづくりにともに取り組むことができるようにする。

(1) 若者社会参画型学習推進事業

地域課題の解決や復興まちづくりの担い手である若者の「自分づくり」を社会教育的なアプローチを生かして支援すると共に、若者の学びの成果を生かした地域づくり活動等への参画を促進することにより、さまざまな人々と協働しながら身近な地域をより良くすることへの関心を高め、社会・地域の一員として自発的・主体的に行動できる人づくりを推進する。

なお、平成 22 年度から 24 年度は「若者によるまちづくり実践塾」という事業名で各区中央市民センターにおいて実施した。平成 25 年度からは、事業名を変更して新たに各区中央市民センターで実施している。

【各区中央市民センターにおける受講者数等一覧】

区	受講者数(団体数)	受講者延人数	イベント参加者数	受講者内訳
青葉区	3	32	200	大学生
宮城野区	19	96	0	高校生・大学生・社会人
若林区	35	117	1,040	大学生・社会人等
太白区	7(団体)	128	38	大学生・社会人
泉区	32	202	207	大学生・社会人

① 若者によるまちづくり実践塾

<青葉区中央市民センター>

地域と若者をつなぐことを目的としたミーティングを重ね、自分たちで企画を立てさせることで社会参画への意識を高めた。また、直接地域に出向いて取材活動をし、フリーペーパー『さんぽ』の第4号を発行した。

紙媒体での間接的な関わりだけでなく、地域の中で直接的な活動をしたいとの強い思いも芽生え、地域のイベントにボランティアとして参加したり、青葉区民まつりで自主企画を実施したりするなど、地域に根ざした活動を展開した。

② まいぷろ・Miyagino for Young PROgram

<宮城野区中央市民センター>

平成 29 年度は「仙台うみの杜水族館」「地域貢献」「かべしんぶん」というキーワードを用い、若者が取り組みやすく、かつ地域の「魅力」や「動き」に気づき、新たな活動を生み出そうとする意欲を高めるように工夫しながら、「八幡商店街・原町商店街」「仙台うみの杜水族館」を題材とした「かべしんぶん」制作を行った。事業全般にわたり、仙台市

市民活動サポートセンターと連携した。

制作過程で、作成技量の向上とともに、読者にわかりやすく伝えたい、掲出先の要望に応えた完成度の高いものにしたいという思いが強くなり、そのことが成果物の出来栄にも表れた。取材時に「人の思い」を強調して取り上げることで、高校生の進路への考えも広がった。

制作した「かべしんぶん」は八幡商店街、原町商店街、仙台うみの杜水族館をはじめ、市民センターや市内 JR の 2 駅に掲出した。

③ 仙白園プロジェクト・人

＜若林区中央市民センター＞

講座名は若林区中央市民センターが養種園（実験農場の役割を担い、仙台白菜を誕生させた）跡地に立地していることに由来。平成 29 年度は「畑作業」、「ボランティア」などを中心に活動を展開した。「畑作業」では、地域住民メンバーとの作業や調理実習などを実施し交流を深めた。また畑の収穫物（じゃがいも、枝豆、白菜）を活用し、夏の交流会、冬の収穫祭（クリスマス会）を企画・運営した。

④ 仙台学生サークルネットワーク事業「つながりんぐ」

＜太白区中央市民センター＞

地域や地区市民センターから「学生と連絡を取りたいがどうしたらいいかわからない」、また、学生からは「社会貢献したいが窓口がわからない」等の意見をうけて、本事業を平成 26 年に立ち上げ、活動する学生のネットワークを「つながりんぐ」と名付けて活動をスタートした。若者の社会参画をねらいとした活動の受け皿となるネットワークを構築するために、在仙のボランティア活動等を行うサークルの新入生歓迎会で直接交渉をしたり、大学で PR 活動を行ったりした。その結果、平成 29 年度は 7 団体のサークルが参加した。活動内容は①自主企画イベント「落語による怪談話」②長町交流フェスタでのイベントの企画・運営（お化け屋敷）③所属する学生サークルを紹介した情報誌の作成であった。完成した情報誌は仙台市内の小中学校や地区市民センター、区役所、町内会、NPO 法人、地元企業等に配布した。

成果としては、定例会やイベント企画を通して各サークルが互いの活動を知ることになりより親密な交流を生み出すことができたこと、活動の受け皿となるネットワークが構築されたこと、情報誌の作成により学生サークルの活動支援ができたこと、があげられる。今後は、地域住民との交流をねらいとした新たなイベント等を企画・運営し、若者の社会参画をさらに推進していきたい。

⑤ ICP Izumi Community Project

＜泉区中央市民センター＞

泉区内の大学に通学している学生を中心とした受講生が、ネットワークを広げながら地域創造について考える企画講座である。毎月行っている全体会を通し「若者が取り組むたいことを企画し、実施する」ことを最優先とし、学生の自由な発想による学習を推進した。

地域課題の把握をするため、「りんご収穫体験・根白石訪問」を企画し、受講者が関心を高めた泉西部地区に重点を置いた。全体会では、情報誌「根白石お散歩手帖」を活用したり、根白石市民センターから情報を得たりしながら、泉西部地区の学習を深めることに努めた。また、随時、「根白石七夕まつり」や「かむりの里伝承まつり」などのイベントに参加することで、受講者は、地域の人々の温かさや地域の魅力を再発見し、自主企画の実施に向けての意欲を高められた。自主企画「いこうよお～根白石の旅・意見交換会・感謝の会」は、根白石の連合町内会長、地元のサークルの方や農家の方々から話を聞いたり、意見を交わしたりすることで、来年度の事業実施へのヒントを得ることができ、更に意欲も高めることができた。また「いこうよお！泉ヶ岳へ～！」を企画・実施し、泉区内の29小学校から参加者を募り、9校27名の小学3～5年生が泉ヶ岳の自然(スノーシュー散策、雪遊び)を体験した。他にも成人式「交流の広場」や「泉6大学まちづくりフェスティバル」で活動報告を行った。昨年度までの学習活動や自主企画事業実施の経験を生かしながら、新たな事業を企画・実施し、泉区やまちづくりへの関心をさらに高めることができた。

⑥「若者社会参画型学習推進事業」にかかる支援及び成果報告会

＜生涯学習支援センター＞

各区中央市民センターで実施している本事業の受講者や担当者を対象に、情報交換会や交流会、成果報告会を実施し、各区中央市民センターの事業内容の再確認・見直しの機会を提供すると共に、受講者の参加意識の向上を図った。併せて、市民センターにおける本事業の普及・推進を図るために区中央市民センターが実践している本事業の成果と課題から、重要なエッセンス及びノウハウを抽出して地区市民センターにフィードバックすること、及び区中央市民センターの事業が円滑に進むように後方支援を行った。

(ア) 啓発事業（参加者：各区中央市民センター若者事業担当者）

大学において各区中央市民センターの事業担当者から学生に対して、若者参画型の事業企画、実施内容のPRを行った。若者参画型事業に対する学生の率直な意見を聴く機会にもなった。

H29. 5. 11(木) 10:50～12:20 東北学院大学教養学部にて実施

H29. 5. 23(火) 16:20～17:50 宮城教育大学教育学部にて実施

(イ) 方向性を確認する会 【助言者】水谷 修 氏（東北学院大学 教授）

(H29. 4. 18(火) 14:00～17:00 参加者：各区中央市民センター若者事業担当者等 17名)

生涯学習支援センター・各区中央市民センターの事業担当者を対象に、年度初めに際して、実施計画をもとに意見交換や助言者からのアドバイスを獲得する機会を設定することで、事業内容をブラッシュアップするとともに、効果的な事業展開を目指すために実施した。

(ウ) 中間報告会

(H29. 11. 7(火) 14:00～17:00 参加者：各区中央市民センター若者事業担当者等 17名)

生涯学習支援センター・各区中央市民センターにおける事業のこれまでの取組状況の報告と今後の予定などの情報の共有化を図り、今後の事業展開の参考とするために実施した。

(エ) 交流会(3回)

(H30.1.21(日), 3.20(火), 3.28(水) 参加者: 各区中央市民センター若者事業担当者等延べ15名 受講者延べ11名)

本事業の受講者を集め、情報交換を行わせることで交流を深めるとともに、受講者自身の事業の振り返りや事業改善、活動意欲を高めることをねらいとして、せんだいメディアテークや生涯学習支援センターで実施した。

(オ) 若者事業 PR コンテンツ制作に係る委託事業

各区中央市民センターにおける事業の受講者増を図るため、大学等での事業PRの際に活用できる当事業のPRコンテンツ(動画を含むスライド資料)を業務委託により作成した。

(カ) 成果報告会 【助言者】水谷 修 氏(東北学院大学 教授)

(H30.1.21(日) 参加者: 事業受講者15名 社会教育施設職員等69名 市民287名)

メディアテークを会場に、各区中央市民センターの事業担当者、若者事業受講者が平成29年度の取組や成果と課題について発表し、助言者からアドバイスをいただき、次年度事業に向けてのブラッシュアップを図った。

(2) 住民参画・問題解決型学習推進事業

地域特性に応じた市民協働による地域づくりを推進するため、住民と市民センター職員が協働して地域課題を発見し、解決につながる活動を実践することにより、そこでのさまざまな学びのプロセスを通して地域づくりを担う人材を発掘・育成することを目的に、平成23年度から各区中央市民センターで事業を実施している。

【各区中央市民センターにおける受講者数等一覧】

区	受講者数	受講者延人数	イベント参加者数	受講者内訳
青葉区	9	105	235	三本松9
宮城野区	21	401	1,010	中野13・田子8
若林区	19	123	300	六郷7・団体10
太白区	19	126	687	区内15団体
泉区	6	110	22	泉区中央6

① 地域元気クラブ

<青葉区中央市民センター>

受講生が講座での学びを生かして、地域の資源や人材を活用し、地域を元気にする企画を提案・実践していくことで、地域活性化のためのノウハウや地域づくりに必要なネットワークを学んだ。企画する事業での参加者や連携先が増えたり、学校をはじめとする地域の諸団体から活動依頼が増えたりするなど地域との顔の見える関係が築かれつつある。

(企画・実施した事業…野鳥を見る会、公園整備・活性化に係る勉強会、初日の出を観る会等)

② 地域の“絆”再生プロジェクト 「地域づくり講座」

＜宮城野区中央市民センター＞

高砂市民センター、田子市民センターと連携しながら、地域の住民がこれまで以上に地域づくりに関心を持ち、地域課題や地域の将来像を共有できるようにするためのワークショップやフィールドワーク等を展開する講座を行った。

今年度の成果として「中野ふるさと学校」では、「ふるさとの喪失」という地域課題を自分事としてとらえ、震災前の地形や足跡を残すために宮城野区蒲生地区にある「日本一低い山・日和山」の「リーフレット作り」に取り組んだ。また「日和山登山」や「交流会」、語り部としての活動等に取り組み、活動の幅を広げている。一方「田子今昔物語」では、地域の旧家から発見された古文書解読・学習をきっかけにして、「まち歩き」や「古文書講座」の実施につなげることができた。地域の歴史や資源を見直すきっかけとする活動を行うことができた。

いずれの講座でも取組の段階に応じた手順を踏んで、事業を展開していくことができた。

③ わたしのふるさとプロジェクト

＜若林区中央市民センター＞

震災による津波で大きな被害を受けた六郷の沿岸地域の状況を踏まえて企画した事業。六郷東部地区は移転された方も多く、震災前と比べて人口が大きく減少している。一方、地域に残った方、戻った方はもとより、移転された方の間でも地域への愛着は強い。このような地域課題を踏まえ、平成 29 年度も六郷東部地区のコミュニティやにぎわい再生に向けて「わたしのふるさとプロジェクト」を継続し、六郷東部地区住民の交流会開催を目標に地域住民（移転された方を含む）の話し合いを月 1 回程度行った。6 月 11 日に東六郷小学校の解体工事を前に「校舎を送る会」を実施したほか、昨年に引き続き、1 月に東六郷コミュニティ・センター及び二木津波避難ビルを会場に第 3 回六郷東部交流会「鎮魂の花火」を実施した。

④ たいはく親子 de スポフェス事業

＜太白区中央市民センター＞

太白区内各小中学校に在籍する児童・生徒の保護者で構成する任意団体(通称:親父の会)や地域の企業、高等教育機関を中心としたネットワークの構築を目指して事業を展開してきた。各地域においては、「転勤族が多く、横のつながりが希薄」「高齢者が多く、防災・防犯面で不安」などの地域課題解決に向けて、意欲的に取り組んでいる団体もあれば、活動が停滞している団体もある。そこで、各地域での活動を支援しつつ、緩やかにネットワークを形成し、お互いが刺激し合い、学び合う機会を設けてきた。地域の企業や大学等の教育機関がネットワークに加わることで、専門的な助言や支援を各団体の地域活動に生かすことができた。市内の小中学校に在籍する児童とその保護者を対象としたスポーツイベント「たいはく親子 de スポフェス」開催に向けて、5 回の企画会を実施してきた。企画会では、イベントの企画に加え、各地域の活動等の情報交換を進めてきた。同スポーツイベントでは、700 名程度が来場し、親子で様々なスポーツを体験した。

平成30年度は、それぞれの地域における各団体主催事業の支援の充実、ネットワークの拡充、各団体が、それぞれの地区館を拠点にして地域課題解決に向けた取り組みに発展するような事業の推進の3点について重点的に事業展開していく。

⑤ 地域いきいきプロジェクト「七北田味の歳時記クラブ」

＜泉区中央市民センター＞

平成28年度から実施している「七北田味の歳時記クラブ」は、失われつつある郷土料理の発掘・再現、また、関連した伝統や風習などの掘りおこしなどを通して、豊かな地域コミュニティと住民の共通した郷土愛を創造していくことを目指した事業である。

平成29年度は、失われつつある郷土の食文化に着目した初年度の活動を踏まえて、「ふるさと七北田が現在のように都市化する前の、食に関わる文化や伝統、風習などについて聞き取り調査を行うこと」と「まだ農村地帯だった泉の姿を克明に描いた巨大な作品が展示されている『齋藤産土美術館』の見学会を企画すること」という2つを活動の柱として、「伝え・広げる活動」に取り組んだ。昭和30年代頃までの暮らしを知る9名の方から聞き取り調査の実施、その内容をまとめたパンフレット『今伝えたい大切に紡いできたふるさと七北田の食と暮らし』の制作・発行、齋藤産土美術館見学会の企画・実施などを通じて、ふるさとへの関心や理解、郷土に対する愛情や誇りにつながってほしいという思いをカタチし、受講生は大きな喜びを感じ得た。

⑥ 「住民参画・問題解決型学習推進事業」にかかる支援及び成果報告会

＜生涯学習支援センター＞

各区中央市民センターで実施している本事業の受講者や担当者、地区市民センター職員を対象に、研修会や報告会等を実施することを通して各区中央市民センターの事業推進を支援した。

(ア) 方向性を確認する会 【助言者】水谷 修 氏（東北学院大学 教授）

(H29.4.21(金)9:30～12:00 参加者：各区中央市民センター大人事業担当者等19名)

生涯学習支援センター・各区中央市民センターの事業担当者を対象に、年度初めに際して、実施計画をもとに意見交換や助言者からのアドバイスを得る機会を設定することで、事業内容をブラッシュアップするとともに、効果的な事業展開を目指すために実施した。

(イ) 中間報告会

(H29.11.1(水)14:00～17:00 参加者：各区中央市民センター大人事業担当者等17名)

生涯学習支援センター・各区中央市民センターにおける事業の取組状況の報告と今後の予定などの情報の共有化を図り、今後の事業展開の参考とするために実施した。

(ウ) 成果報告会 【助言者】水谷 修 氏（東北学院大学 教授）

(H30.1.21(日) 参加者：事業受講者23名 社会教育施設職員等92名 市民287名)

各区中央市民センター事業担当者及び事業受講者、市民センター職員、関係課職員、市民を対象に、各区事業の報告並びに成果と課題等について総括する成果報告会を開催した。事業報告は事業担当者や受講者が行い、助言者からアドバイスをいただき、次年度事業に向けてのブラッシュアップを図った。

(エ) パンフレットの発行

市民や関係機関に向けて、住民参画・問題解決型学習推進事業の啓発のために 1,500 部作成し、区中央市民センター及び地区市民センター職員に配布し、市民向けに配架した。



(3) 子ども参画型社会創造支援事業

本事業は、子どもたち（小学校、中学生、高校生）が、地域の中で役割を持ち、社会の構成員として積極的にまちづくりに参加し、自分たちの地域の課題に気づき、地域・社会の一員として行動する視点を持つことで、将来的に地域や社会で主体的に活躍できるようになることを目指した「人づくり」を目的としている。平成 23 年度から、各区中央市民センターを中心として実施している。

【各区中央市民センターにおける受講者数等一覧】

区	受講者数	受講者延人数	イベント参加者数	受講者内訳
青葉区	9	133	109	小・中学生
宮城野区	35	229	600	小・中学生
若林区	31	222	0	小・中学生
太白区	26	242	563	小学生
泉区	13	154	225	小・中学生

① Sendai Aoba Teens Club

<青葉区中央市民センター>

「カップダ川プロジェクト」では公開講座のサポートを受講者が行った。また「カップダ川ダンス部」は、地域に流れる『カップダ川』をテーマにしたダンスを地域行事で披露したり、地域住民とともに踊ったりしながら地域の絆づくりに積極的に取り組んだ。

活動を通して、地域のひと・もの・ことについて理解を深めるとともに、それらを尊重しようとする心情も育ってきている。受講者が地区まつりやボランティア活動に参加するなど、社会参画に資する人材育成も進んでいる。

② 進め！みやぎのキッズもりあげ隊 ～みんなの力で地域を元気にしよう～

<宮城野区中央市民センター>

3つの地区市民センターと共催で、子どもたち目線でそれぞれの地域を盛り上げた。

区中央市民センターでは、原町小児童を対象とした、「原町キッズもりあげ隊」を実施。「交流」と「仲間集め」をテーマに、地域のまつりに遊びのお店を出店し仲間を募ったり、市民センターを会場に子どもから大人までみんなで楽しく交流できる場を作ったりした。

東部市民センターでは、新田小児童を対象にした、「新田まちづくり子ども計画」を実施。アンケートやワークショップを通して、地域への思いや気になることを引き出し、「あそび」をテーマにした講座やまち歩き、メッセージカード作り等を行った。

高砂市民センターでは、岡田小児童を対象とした、「復活岡田 環境子どもまちづくり計画」を実施。被災した区沿岸部における海岸クリーン活動やハマヒルガオ等の植栽、沿岸部に漂着した材料を活用しての「リボンアート」制作活動等に取り組んだ。

子どもたちが地域の市民センター等に自分たちの活動拠点を設け、イベント企画や情報収集・発信の活動によって地域とつながり、社会に参画していくきっかけづくりになっていた。

③ 子どもボランティア事業 チャイルドボランティア「チャボ！」

＜若林区中央市民センター＞

誰かの役に立つことで社会・地域の一員として自分の存在の大切さを体感することができるよう、子どもたちにボランティア活動の機会をつくる事業。対象は当センター近隣の小学4年生～中学生で、平成30年3月現在31名が登録している。地域の団体や施設などの協力を得て、一年を通して月1、2回活動しており、平成29年度は、地域清掃、児童館等の行事の手伝い、被災した東部沿岸地域のみどりの再生に取り組んでいる「ふるさとの杜再生プロジェクト」の植樹会への参加、高齢の方に届ける宅配弁当に添える手紙書きなど28回の活動を行った。

④ エフエムたいはくキッズ情報局

＜太白区中央市民センター＞

3つの地区市民センターと1つの小学校と共催で、それぞれの地域の良さをエフエムたいはくのラジオで発信するという事業。全体会は3回の講座、その他に地区ごとに各7回程度活動した。エフエムたいはくのキッズアナウンサーとして、また、地域のキッズリーダーとして、市民センターや学校を拠点に活動し、活動したことはFM放送で発信した。

地区市民センターを拠点に活動することにより、地域のさまざまな方と交流することができた。また、番組作りを通して、自分たちの地域を学習したり、地域の良さを再発見したりすることができ、地元意識・地域愛につながった。さらに、他の地域との交流を実施することで、自分たちの地域の良さをもっと調べて発信したいという意欲につながった。

また、ジュニアリーダーと一緒に地域の行事に参加することにより、ジュニアリーダーの頼もしさを感じることができ、ジュニアリーダーを知ってもらえる良い機会となった。

⑤ 子どもまちづくり企画室

＜泉区中央市民センター＞

「子どもまちづくり企画室」は、小中学生が自分たちの住む地域にある課題やニーズに気づき、自分達にできることを考え、取り組める子どもたちの育成を目指す事業である。小・中学生が自分の得意分野を生かし、創作活動を通して地域の活性化を進める企画を提案・実施する「アートフルいずみゆめ工房」と並行して平成28年度から実施している。

平成 29 年度は、受講生自らが「地域をきれいにすること」「町の魅力を伝えること」「地域の人が交流すること」の 3 つをテーマに設定し、「どんな手段や内容で」「誰を対象に」「いつどこで」実施するかについてアイデアを出し合ったり、体験活動を通して企画の必要性を実感したり、参加する方の視点から企画を検討し直したりして、自主企画「ひろって！歩いて！楽しんで！七北田・市名坂まちあるき」を実施した。受講生は自主企画での講師や参加者の感想を通して、「地域の方に活動のテーマやねらいを伝えられた」「地域の役に立った」という自己有用感を持つとともに、「自分たちで考えて行動できた」という達成感を得ることができた。自主企画後は、成果と課題のまとめ（講師へのお礼状書きを含む）や「すいせん通り」での氷とり作業、地域イベント「あそびの天国」でのブース出店等を行った。

⑥「子ども参画型社会創造支援事業」にかかる支援及び成果報告会

<生涯学習支援センター>

各区中央市民センターで実施している本事業の受講者や担当者、地区市民センター職員を対象に、報告会や情報交換会等を実施し、各区の事業推進を支援した。

(ア) 方向性を確認する会 【助言者】新田 新一郎 氏 ((有)プランニング開 代表)

(H29. 4. 20(金) 14:00～17:00 参加者:各区中央市民センター子ども事業担当者等 16 名)

生涯学習支援センター・各区中央市民センターの事業担当者を対象に、年度初めに際し、実施計画を基に意見交換や助言者からのアドバイスを獲得する機会を設定することで、事業内容をブラッシュアップするとともに、その後の効果的な事業展開を目指すために実施した。

(イ) 石巻・仙台子ども活動交流会

(H29. 8. 3(木) 参加者:事業受講者 21 名, 事業担当者 6 名)

各区中央市民センターにおける「子ども参画型社会創造支援事業」を受講する児童・生徒や事業担当者が、石巻市で子どもセンター「らいつ」の企画や運営に関わっている児童・生徒やその職員との交流を通じて、互いの活動について知るとともに、これまでの活動を振り返ることで、今後の活動に対する意欲を高め、事業のブラッシュアップを図ることを目的として実施した。

(ウ) 中間報告会

(H29. 10. 24(火) 14:00～17:00 参加者:各区中央市民センター子ども事業担当者等 15 名)

生涯学習支援センター・各区中央市民センターにおける、これまでの事業の取組状況報告や今後の予定などの情報共有を図り、今後の事業展開の参考とするために実施した。

(エ) 成果報告会 【助言者】新田 新一郎 氏 ((有)プランニング開 代表)

(H30. 1. 21(日) 参加者:事業受講者 37 名 社会教育施設職員等 86 名 市民 287 名)

各区中央市民センターの子ども事業受講者が、取組の様子や自分たちの意識の変化についての発表したのち、助言者から各区の取組の良い点や今後の活動に役立つような助言をいただいた。地区市民センター職員に対しては、本事業への市民センターとしての働き掛けや支援の実際について、普及・啓発を図る内容とした。

(オ) リーフレットの発行

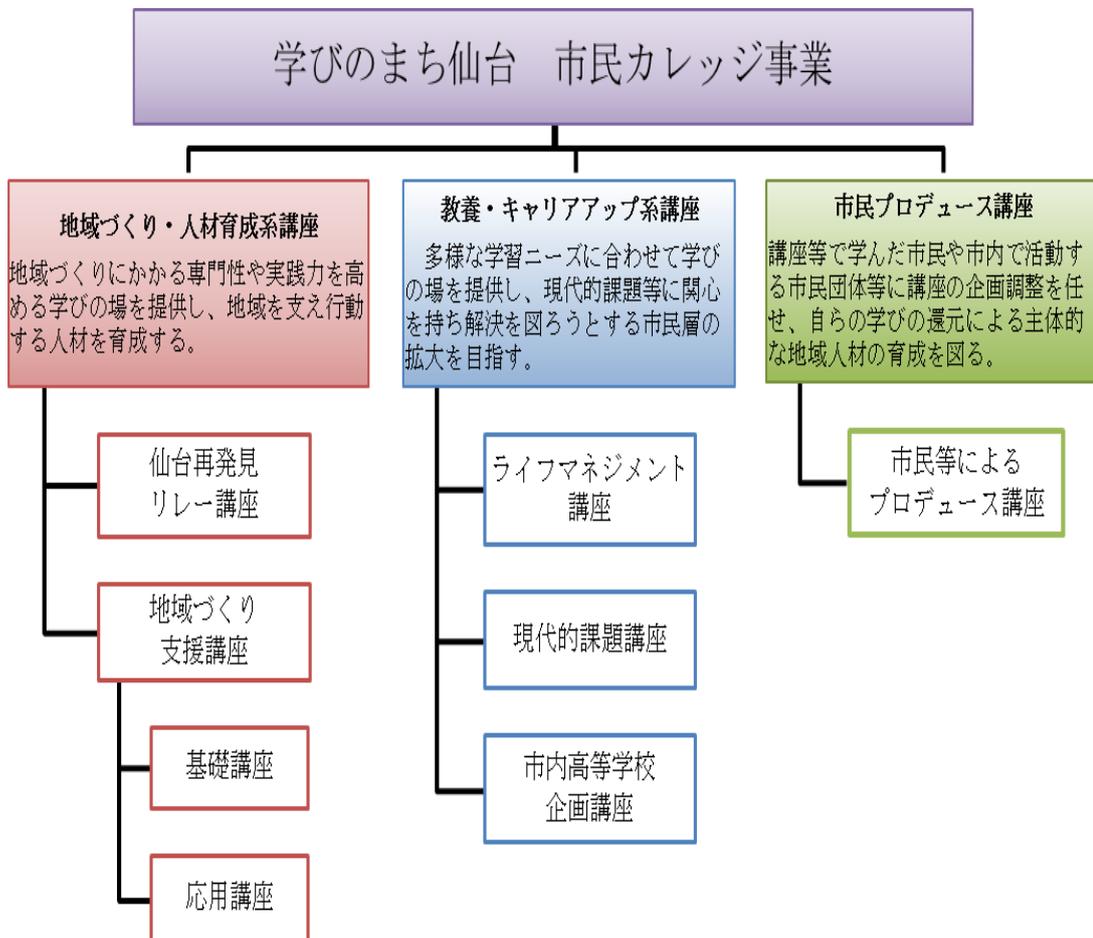
地区市民センター及び仙台市内の小中学校に向けて、子ども参画型社会創造支援事業の啓発のために発行した。1,500部作成し、地区市民センター職員と市内小中学校、高等学校、中等教育学校に配付した。



(4) 学びのまち仙台市民カレッジ事業

＜生涯学習支援センター＞

本市における生涯学習の支援拠点として、全市域の市民を対象に、社会ニーズや現代的課題に対応した、専門的で質の高い学習の機会を創出することで、学びを通じた市民力の育成を目指すとともに、学習成果が地域や社会に還元されるような仕組みづくりを進める。



① 「仙台再発見リレー講座」 5回選択講座

在仙の専門家により、仙台の魅力や現状などをよく理解し、地域について考えるきっかけとなるリレー講座を実施。お笑いや科学技術、食文化やまつりや歴史などをテーマとして実施した。

回	日時	概要	要	受講者
1	5.27(土) 14:00~16:00	講話「仙台のお笑い文化」 フリータレント ワッキー貝山 氏 対談「仙台のまちの魅力」 フリータレント ワッキー貝山 氏 株式会社 MCラボ 代表取締役 阿部 清人 氏		34
2	6.10(土) 14:00~16:00	講話「ナノテクノロジーに見る仙台の力」 東北大学 教授 村松 淳司 氏		29
3	6.24(土) 14:00~16:00	講話「仙台の食文化」 東北大学 教授 落合 芳博 氏		26
4	7.1(土) 14:00~16:00	講話「仙台七夕の魅力」 株式会社 鳴海屋紙店 本部長 鳴海 幸一郎 氏		28
5	7.8(土) 14:00~16:00	講話「仙台の歴史とまちづくり」 東北文化学園大学地域連携センター副センター長 渡辺 洋一 氏		33

② 「地域づくり支援基礎講座」 ～身近な事例から学ぶ～ 5回連続講座

参加者が地域づくりに取り組もうとする際に、どのような方法で活動をしていけばよいか、地域づくりの先駆者の実践事例、研究者の講話、受講者同士のワークショップ等を通して学び、実践に活かせる知識・スキル等を身につけられるようにする。町内会や学校との地域づくり、地域農業とボランティアなどをテーマとして実施した。

回	日時	概要	要	受講者
1	5.17(水) 18:30~20:30	開講式／講話・ワーク「地域づくりを楽しもう！」 株式会社 MCラボ 代表取締役 阿部 清人 氏 ※講座のコーディネーターは、阿部 清人 氏		22
2	6.7(水) 18:30~20:30	事例発表「町内会と地域づくり」 八木山連合町内会会長 高橋 秋男氏 八木山市民センター館長 並河 浩一 氏		24
3	7.5(水) 18:30~20:30	事例発表「地域農業とボランティア」 一般社団法人 ReRoots 代表 広瀬 剛史 氏		18
4	8.2(水) 18:30~20:30	事例発表「学校を中心とした地域づくり」 西中田こみこみスクール スーパーバイザー 山川 由紀子 氏		19
5	9.9(土) 13:30~17:00	館外学習・事例発表「新浜地域づくり」／閉講式 新浜町内会 会長 平山 新悦 氏 ほか 高砂市民センター 館長 八柳 善隆 氏 株式会社 MCラボ 代表取締役 阿部 清人 氏		21

③ 「地域づくり支援応用講座」～あなたの力をスキルアップ～ 5回連続講座

地域づくり支援基礎講座の受講者や活動経験者を対象に実施し、基礎講座のステップアップ講座として位置づける。同一のコーディネーターが講座デザインを行い、学びの一貫性を保つ。地域課題、助成金、コミュニケーション術などをテーマとして実施した。

回	日 時	概 要	受講者
1	10.4(水) 18:30～20:30	開講式／講話 「地域づくりの課題を見つけよう」 株式会社 MCラボ 代表取締役 阿部 清人 氏 グループワーク (参加者自己紹介・情報交換等) ※講座のコーディネーターは、阿部 清人 氏	18
2	11.1(水) 18:30～20:30	講話「助成金を申請する方法」 一般社団法人 みやぎ連携復興センター 常務理事・事務局長 千葉 富士男 氏	17
3	12.6(水) 18:30～20:30	講話・ワーク「コミュニケーション術～基礎編～」 キャリアトーク 代表 志伯 暁子 氏	14
4	1.10(水) 18:30～20:30	講話・ワーク「コミュニケーション～応用編～」 キャリアトーク 代表 志伯 暁子 氏	12
5	2.7(水) 18:30～20:30	講話・ワーク「学びの振り返り」／閉講式 株式会社 MCラボ 代表取締役 阿部 清人 氏	11

④ 「ライフマネジメント講座 私らしくライフデザイン」～なりたい自分をイメージ～ 4回連続講座 (託児付)

子どもの就園・就学等の後に漠然と何かしたいと考えている女性を対象に、気持ちの整理を後押しし、その後の人生の多様な選択肢につながる学びや交流の場となるような講座を託児付きで実施した。

回	開催日	概 要	受講者
1	6.8(木) 10:00～12:00	講話・ワーク「多様化する女性の生き方」 (公財) せんだい男女共同参画財団 事業管理係長 牛井 渕 展子 氏 ほか	14
2	6.15(木) 10:00～12:00	講話・ワーク「自分の想いを棚おろし」 株式会社 ゆいネット 代表取締役 稲葉 雅子 氏	15
3	6.22(木) 10:00～12:00	講話・ワーク「少し先行くママに聞く」 就労や地域活動を行っている女性3名との対話 ファシリテーター：(特活)せんだいファミリーサポート・ ネットワーク代表理事 伊藤 仟佐子 氏	12
4	6.29(木) 10:00～12:00	講話・ワーク「はじめの一步を踏み出すために」 株式会社 ゆいネット 代表取締役 稲葉 雅子 氏	12

⑤ 「現代的課題講座 身近に起こっている問題をみんなで考えよう」～様々なトラブルに対する理解と対応～ 3回選択講座

地域で課題解決に関わる新たな人材の発掘を目指し、社会の変化等により従来の考え方では対応が困難になってきた現代的課題をテーマに、消費者問題、情報モラル、多文化共生について学びを広げる講座を実施した。

回	開催日	概 要	受講者
1	3.3(土) 14:00～16:00	講話「消費者問題と消費者市民社会～消費者被害の実例を踏まえて～」 小野寺友宏法律事務所 弁護士 男澤 拓 氏	13
2	3.10(土) 14:00～16:00	講話「情報化社会におけるスマホの安全・安心な利用法」 地域情報モラルネットワーク 理事長 小島 正美 氏	17
3	3.17(土) 14:00～16:00	講話「共に生きる社会を目指してひとりひとりができること」 宮城教育大学 教授 市瀬 智紀 氏	26

⑥ 「市立高等学校教員による企画講座 はじめての楽しいダンス」 2回連続講座

仙台市立高等学校の教員を派遣してもらい、市民向けの実学的な講座を開催する。「高校開放講座」事業と連動して行う。(P34 「高校開放講座」参照)

⑦ 「市民等によるプロデュース講座」

市民センターの講座等の受講生や市内で活動する団体等が、身近な地域をより良くするために、学びや専門性を活かして講座の企画やコーディネートを行い、他の市民とともに専門的な講話やワークショップから学ぶ。平成29年度は、平成28年度に地域づくり支援講座を受講した女性防災リーダー、学校支援地域本部のスーパーバイザーやコーディネーター、宮城県手話通訳問題研究会と聴覚障害者支援団体等の企画・運営による3講座を実施。

i) 「防災・減災講座」 5回連続講座

回	開催日	概 要	受講者
1	10.14(土) 14:00~16:00	開講式／講話「遺跡等から探る災害の歴史～防災から減災へ～」 宮城学院女子大学 非常勤講師 木村 浩二 氏	21
2	10.28(土) 14:00~16:00	講話「福住町の先進的な取り組みを運営する側の視点から学ぶ」 福住町町内会副会長・防災減災部長 大内 幸子 氏	12
3	11.12(土) 10:00~13:00	館外学習・視察「福住町の防災訓練視察」 福住町町内会副会長・防災減災部長 大内 幸子 氏	10
4	11.18(土) 14:00~16:00	講話「スフィア基準について学ぶ」 静岡大学 教授 池田 恵子 氏	32
5	12.2(土) 14:00~16:00	ワーク「クロスロードゲームで多様な価値観を共有」 宮城野区まちづくり推進課ふるさと支援担当 主査 太田千尋氏／ 閉講式	24

ii) 「物語を知って読み聞かせを楽しもう！」 2回連続講座

回	開催日	概 要	受講者
1	2.27(土) 10:00~12:00	講話「読み聞かせ(基礎編)」 仙台市立七郷中学校 主幹教諭 中川 美佳 氏	92
2	3.7(土) 10:00~12:00	講話「読み聞かせ(応用編)」 元通町児童館 館長 杉山 秀子 氏	85

iii) 「聞こえない世界へようこそ」 3回連続講座

回	開催日	概 要	受講者
1	9.8(金) 18:30~20:30	開講式 講話「聞こえないって？」 みみサポみやぎ 田脇 博子 氏 「聴覚障害ハンディキャップ体験」 石川 美希 氏	18
2	10.6(金) 18:30~20:30	講話・ワーク「聞こえない人と話す防災」 一般社団法人 宮城県聴覚障害者協会 仙台支部会員	21
3	11.10(金) 18:30~20:30	講話・ワーク「見えない、聞こえない世界って？」 みやぎ盲ろう児・者友の会 会長 早坂洋子 氏, 石黒昌道 氏	15

2 広域規模の学習支援

(1) 高等学校開放講座

＜生涯学習支援センター＞

高等学校の持つ教育機能を生かし、市民の生活上・職業上の専門知識・技能を及び一般教養の修得を図る。【昭和51年度開始 市立高校5校・5講座、受講生79名、延196名】

学校名	講座名	内容	実施日	申込者	受講者
仙台工業高校	高校生と住宅模型をつくろう！～工業高校ものづくり体験～	別荘建築の1/50サイズを制作。模型の基本的技術を身につけ、建物づくりを楽しむ。	7.27(木)～ 7.28(金)	15	10
仙台青陵中等教育学校	はじめての楽しいダンス～心も体もリラックス～	ストレッチや軽運動を取り入れた日常的にできるダンスをマスターし健康に役立てる。	7.27(木)～ 7.28(金)	10	9
仙台高校	親と子の理科教室～実験を通して自然を探究～	高校の物理・化学・生物・地学の実験を分かりやすく体験し、科学の面白さに触れる。	7.29(木)～ 7.30(日) 8.5(土)～ 8.6(日)	16	14
仙台大志高校	地域活動で役立つ！プレゼンテーションソフト入門	パワーポイント2010の基礎、地域活動に役立つ資料作成、プレゼンテクニックを学ぶ	8.8(火)～ 8.10(木)	20	17
仙台南商業高校	表計算入門「エクセル2013基礎講座」	エクセル2013の基礎、関数の利用、いろいろな表やグラフの作成などを学ぶ	12.2(土)～ 12.3(日)	57	29

(2) 若い青年教室

＜生涯学習支援センター＞

仙台市内に在住又は勤務している知的障害のある青年に対し、仲間づくりや生活上の基本的知識・技能の習得に役立つ活動を展開することを目的として、学習機会を提供する事業を行った。【昭和45年度開設：教室生34名 9回の教室を実施】

主な活動内容	実施回数	延参加者
<p>○学習会(6回)：6/18, 7/23, 9/10, 11/19, 12/17, 1/28 青葉区中央市民センターを会場に開催。クッキング、音楽、探検・スポーツ、創作・美術の4コースの中から希望するコースごとに分かれて3回の学習を行った。その他、レクリエーション活動・奉仕活動(市内中心部のボランティア清掃)、クリスマス会、節分フェスティバルを行った。</p> <p>○秋のハイキング(1回)：10/22 バスを利用して、角田方面(角田宇宙センター、角田市スペースタワー・コスモハウス)にて館外学習を行った。</p> <p>○式典(2回) ・委嘱状交付式(講師委嘱16名)、開講式：4/16 ・コース発表会、修了式：2/18</p>	9	212

(3) 仙台明治青年大学

＜生涯学習支援センター＞

地区市民センターの老壮大学やシルバーセンターのせんだい豊齡学園を修了した 61 歳以上の高齢者が「生きがいと自己実現」を図ることを目的として、学習会や大学祭などを自主運営により開催している。本学は昭和 41 年に開設され、平成 28 年度に創立 50 周年を迎えた。

(年度別在籍者数の推移)

年 度	H25	H26	H27	H28	H29
新入生数	68	103	75	74	78
在籍者総数	766	801	815	810	806

(主な活動)

活 動	活動内容	実施回数	延参加者
式典 (2回)	・入学・開講式 ・修了・閉講式(記念講演「外国人から見た日本の発見」 大越 裕光 学長)	25	14,175
大学祭 (3日間)	楽楽楽ホール、生涯学習支援センターを会場に実施。サークル団体の活動発表の場となっている。		
学習会 (20回)	太白区文化センター楽楽楽ホールを会場に開催。1回あたりの平均出席者数は 598 名であった。文化芸能、健康、震災などをテーマに、外部講師を招聘し実施した。		
広報活動	・学生間の情報共有を促進するため、学内広報誌「団欒」を発刊した。 ・文芸誌「老学文苑」を発刊した。	—	—
ボランティア活動	・近隣小学校、児童館、児童養護施設等で昔遊びや囲碁・将棋、七夕飾り作り等を教えている。 ・近隣中学校で「仙台自分づくり教育」の一環として、キャリア教育の講師を務めた。 ・市民センター事業への協力や外部からの要請に対応した。 ・学習会の際にワンコイン募金活動を行った。	—	—

(4) 自主夜間中学

「仙台に夜間中学をつくり育てる会」が運営する「仙台自主夜間中学」を仙台市教育委員会との共催事業と位置付け、一部会場の提供、市政だよりへの掲載やチラシ配布による広報支援等を行った。

第 1・3 水曜日 昼間部・夜間部開講 51 回(会場:仙台市市民活動サポートセンター)

第 2・4 金曜日 夜間部開講 24 回(会場:生涯学習支援センター)

参加者延数 1,881 人(生徒 941 人 スタッフ 866 人 見学等 74 人)

平成 30 年 3 月末実数 生徒 40 人 スタッフ 35 人

3 人材育成

(1) 職員研修（学びを支える人材育成推進事業）

<生涯学習支援センター>

市民センター全 60 館ならびに 19 ヶ所の社会教育施設等の職員が、生涯学習事業の推進に必要な知識や考え方を深められるようにするとともに、社会の変化や市民ニーズに迅速かつ柔軟に対応しながら、積極的に市民や地域と連携を図ることができる専門性やスキルを身に付けられるようにする。

研修名	受講対象	概 要	受講者
生涯学習 基礎研修 全 6 回	<ul style="list-style-type: none"> ・市民センター職員 ・他の社会教育施設職員（博物館，科学館，図書館，天文台，大倉ふるさとセンター，オーエンス泉岳自然ふれあい館，仙台ひと・まち交流財団，仙台市市民文化事業団 5 施設） ・関係課職員 	第 1 回「社会教育施設新任職員研修」 5/24(水)10:00～17:00 ◎講話 1「社会教育施設職員に求められるもの」 東北大学大学院 教授 高橋 満 氏 ◎講話 2「仙台市の社会教育・生涯学習について」 仙台市教育局生涯学習課長 田中 富男 氏 ◎事例紹介「市民の学びを支えるために～参加・空間・資源・協働～」 仙台市歴史民俗資料館 学芸室長 佐藤 雅也 氏 大倉ふるさとセンター センター長 菅澤 修治 氏 ◎グループワーク	37
		第 2 回「社会教育の現代的な役割」 6/30(金)14:00～17:00 ◎講話「社会教育の現代的課題と未来への可能性 ～30 年後の地域コミュニティを見据えて～」 東北大学 准教授 佐藤 智子 氏 ◎グループワーク	32
		第 3 回「学びの連携～仙台市縄文の森広場見学～」 9/8(金)14:00～17:00 縄文の森広場 ◎施設見学「仙台市縄文の森広場の概要～施設編～」 ◎講話 「仙台市縄文の森広場の概要～事業編～」	31
		第 4 回「学校と地域の連携」※兼 地域連携担当者研修会 10/19(木)14:00～17:00 ◎講話「協働活動の意義と必要性」 まちと学校のみらい 代表理事 竹原 和泉 氏 ◎事例発表 黒松市民センター 主任 林 裕子 氏 仙台市立八乙女中学校 教諭 関 孝一 氏 ◎グループワーク等	110
		第 5 回「社会教育と市民協働」 11/10(金)14:00～17:00 ◎講話「社会教育における市民協働の意義と必要性」 茨城県生涯学習社会教育研究会 会長 長谷川 幸介 氏 ◎グループワーク	26
		第 6 回「社会教育施設の役割と機能」 12/20(水)14:00～17:00 ◎講話「社会教育施設に求められる役割と機能」 大分大学高等教育開発センター 教授 岡田 正彦 氏 ◎グループワーク	23

研修名	受講対象	概 要	受講者
市民センター新任職員研修全1回	・市民センター職員 ・関係課職員	4/19(水) 13:30~17:00 ◎講話1「新任職員への期待」 東北学院大学 教授 水谷 修 氏 ◎講話2「市民センターの概要」※ ◎講話3「学習情報提供・相談と学習情報の発信について」※ ◎講話4「ジュニアリーダーの活動について」※ ◎講話5「学校との連携について」※ ※生涯学習支援センター職員が担当	33
市民センター館長研修全1回	・市民センター館長	8/30(水)15:00~17:00 ◎講話「公民館による『おらほの地域応援し隊』プログラムについて」 北秋田市教育委員会生涯学習課 主幹兼係長 松田 淳子 氏 ◎対談「地域から信頼され、市民に求められる市民センターとは～“参画”の先にある姿を目指して～」 コーディネーター:東北学院大学 教授 水谷 修 氏 北秋田市教育委員会生涯学習課 主幹兼係長 松田 淳子 氏	59
社会教育推進研修全2回	・生涯学習支援センター、各区中央市民センター等に所属する社会教育主事等教育局職員	5/19(金)14:00~17:00 ◎講話「今、求められる社会教育主事の使命」 宮城教育大学 学長付 特任教授 野澤 令照 氏 ◎グループワーク 10/5(木)14:00~17:00 ◎事業評価活動についての意見交換等 ◎講話「これからの社会教育のあり方」 特定非営利活動法人教育支援協会 代表理事 吉田 博彦 氏	18 17
事例発表研究研修全1回	・市民センター職員 ・関係課職員	2/28(水)14:00~17:00 ◎事例発表「片平すずめ踊り祭連参上!」,「地域の宝みんなの片平公園」 片平市民センター 早川 麻由利 氏 ◎事例発表「ぶらり石碑ウォッチング」 福室市民センター 中里 とわ子 氏 ぶらり石碑ウォッチング リーダー 鈴木 力 氏 ◎座談会「地域住民における社会参画について」 東北学院大学 教養学部長 水谷 修 氏 有限会社 プランニング開 代表 新田 新一郎 氏 東北大学大学院経済学研究科 講師 石垣 政裕 氏 宮城学院女子大学 非常勤講師 鈴木 悟 氏	86

研修名	受講対象	概 要	受講者
生涯学習 応用研修 ～スキル アップ研 修～ 全5回	・市民センター 職員 ・他の社会教 育施設職員 ・関係課職員	第1回「ファシリテーション研修～初級編～」 6/1(木)14:00～17:00 ◎講話とワークショップ「ファシリテーション入門～自分を見つめ、場の力を感じよう!～」 地域社会デザイン・ラボ 代表 遠藤 智栄 氏	25
		第2回「ファシリテーション研修～ワークショップ編～」 7/7(金)14:00～17:00 ◎講話とワークショップ「ワークショップ体験とファシリテーション」 地域社会デザイン・ラボ 代表 遠藤 智栄 氏	22
		第3回「ファシリテーション研修～会議編～」 9/15(金)14:00～17:00 ◎講話とワークショップ「会議でのファシリテーション」 地域社会デザイン・ラボ 代表 遠藤 智栄 氏	23
		第4回「コミュニケーション研修」 1/26(金)14:00～17:00 ◎講話とグループワーク「アンガーマネジメント研修 ～怒りの感情との上手な付き合い方と吐き方～」 キャリアトーク 代表 志伯 暁子 氏	21
		第5回「効果的な情報発信研修」 2/22(木)14:00～17:00 ◎講話とグループワーク「効果的な情報発信の知恵」 仙台市市民活動サポートセンター 松村 翔子 氏	23
生涯学習 応用研修 ～現代的 課題対応 研修～ 全3回	・市民センター 職員 ・他の社会教 育施設職員 ・関係課職員	第1回「青少年育成研修」 6/14(水)14:00～17:00 ◎講話とグループワーク「若者の社会参画について」 尚綱学院大学エクステンションセンター 特任教授 松田 道雄 氏	24
		第2回「多様性配慮研修」 7/14(金)14:00～17:00 ◎講話とグループワーク「社会教育施設における多様性への配慮 ～「見えにくい障害」への理解と対応～」 仙台市北部発達相談支援センター 主査 門田 亜希子 氏	34
		第3回「高齢社会研修」 2/9(金)14:00～17:00 ◎講話とグループワーク「シニア世代の社会参画について」 長野県長寿社会開発センター 理事長 内山 二郎 氏	17

(2) 学びを支えるボランティアセミナー

＜生涯学習支援センター＞

「学びのまち・仙台」を支える基盤の充実を目指し、より多くの市民や団体等が、学びの活動に参画できるよう、市民や行政といった立場の違いを越えて理念の共有を図るとともに、ネットワークの構築を進めることを目的として実施した。

受講対象	概 要	受講者
<ul style="list-style-type: none"> ・市民センター職員 ・社会教育施設職員 ・生涯学習ボランティア ・希望する市民 	11/16(木)14:00～17:00 ◎講話「ボランティア活動からの学びの循環とは」 仙台市社会福祉協議会地域福祉課 ボランティア協働係長 早川 敏 氏 ◎事例紹介 仙台市縄文の森広場 学芸員 山田 めぐみ 氏 仙台市縄文の森広場 ボランティア(3名) ◎グループワーク	26

(3) 地域コーディネーターリーダー研修

＜生涯学習支援センター＞

子どもを育む地域力を高める視点に立ち、地域内のコミュニケーションやネットワークの活性化を目指し、地域で核となる人材を育成する事業。実際に地域で活躍している市民(企画員)との協働により研修内容を企画・実施した。

受講対象	概 要	受講者
<ul style="list-style-type: none"> ・学校支援地域本部事業、放課後子ども教室事業、図書室等開放事業、社会学級、学コミ事業の関係者 ・PTA 関係者、学校教員、児童館職員 ・市民センター職員 ・その他 	2/17(土)13:30～16:30 ◎事例発表「読み聞かせの取組」 仙台市立東六番丁小学校学校支援地域本部 スーパーバイザー 鹿野 恵美子 氏 仙台市立中山小学校 6年 成澤 夏乃 氏 生き生き中山っ子教室 コーディネーター 鈴木 章代 氏 ◎事例発表「小1のための生活・学習サポーターの取組」 仙台市立中山小学校 石田 千恵子 氏、竹内 ちあき 氏 ◎事例発表「学校支援地域本部スーパーバイザーの取組」 仙台市立旭丘小学校学校支援地域本部 スーパーバイザー 岡崎 千佳子 氏 ◎事例発表「学習支援、行事等の取組」 マイスクール川平 コーディネーター 牧 靖子 氏 ◎意見交換、情報交換 ◎総括 宮城教育大学 学長付 特任教授 野澤 令照 氏	73

(ア) 地域コーディネーターリーダー研修会企画員会 (全5回 延参加者27名)

・研修会の方向性や内容の検討

10/4(水)14:30～16:30, 11/7(火)10:00～12:00, 12/19(火)10:00～12:00,

2/1(木)10:00～12:00, 3/13(火)10:00～12:00

(4) ボランティア養成等人材育成事業

① 託児ボランティア養成・活動支援

<生涯学習支援センター>

「いつでも」「どこでも」「誰でも」学習できる「学びのバリアフリー事業」の一環として、子育て中の保護者が安心して学習できるように講座に託児を付設している。

託児付き事業の託児室は、市民参画による市民のためのものとしてボランティアによる主体的な運営を前提としており、その中で活躍する託児ボランティアを支援するとともに、新たな託児ボランティアの養成・育成のための事業を実施した。

事業名	開催日	内 容	延受講者
託児ボランティア活動支援（連絡会・調整会の開催）	5月9日 10月3日 3月6日	市民センターで活動する託児ボランティアに対し、連絡会、託児調整会等の開催により、日常の活動を支援した。	72
託児ボランティア養成講座	9月28日 10月5日 10月12日 10月19日 10月26日 全回木曜日 10:00 ～12:00	託児ボランティアとしての活動に必要な知識や技術を学んだ。 ◎オリエンテーション「託児ボランティア活動について」 ◎講話「子どもを取り巻く環境①遊びと発達」 仙台市蒲町保育所 主任 松岡 明子 氏 ◎移動学習「子どもを取り巻く環境②保育所見学」 仙台市支倉保育所見学 ◎講話「子どもの病気と怪我」 太白区家庭健康課母子保健係 太田 ひとみ 氏 ◎話し合い、実技「これからの活動に向けて」	31
託児ボランティアフォローアップ研修	12月5日 (火) 10:00 ～12:00	より質の高い託児室運営のため、託児ボランティアの資質や技術向上に役立つ研修を実施した。 ◎講話「わらべうたで遊ぼう」 たんぼぼ文庫代表 語り手たちの会・みやぎ代表 竹丸 富子 氏	28

【託児ボランティアグループ一覧】（平成30年3月現在）

グループ名	設立年月日	主な活動区域（区域以外での活動も有り）	会員数
さくらんぼ	H14. 5. 8	青葉区	7
ひまわり	H 9. 8. 1	泉区	9
アリスの会	H 5. 7	若林区	4
にんじん	S59. 7. 9	宮城野区	5
ハイジ	H22. 4	若林区	10
クリップ	H 9. 4. 1	若林区	11
でんでんむし	H12. 3.22	太白区	9
たんぼぼ	H 3	太白区	12
てっぺの会	H 6. 4	青葉区・泉区	5
合計 9グループ / 会員数 72名			

② 図書ボランティア活動支援

<生涯学習支援センター>

市民センター併設の図書室（48館）のうち31館の図書室では、市民ボランティアの協力により図書の貸し出し等の運営を行っている。

その図書ボランティアの活動を支援するためのスキルアップ研修を実施した。

事業名	開催日	内 容	受講者
図書ボランティア スキルアップ 研修	12/13（水） 14:00 ～ 16:00	◎講話とワークショップ 「図書館に学ぼう！利用しやすい図書室づくり」 仙台市榴岡図書館 館長 中里 省一 氏 仙台市榴岡図書館 司書 遠藤 未雪 氏	20

【図書ボランティア一覧】（平成29年7月現在）

グループ名	活動館	会員数
さくらさくら	北山市民センター	10
カンナの会	福沢市民センター	13
図書ボランティアぽけっと	三本松市民センター	8
（個人登録）	片平市民センター	6
（グループ名なし）	水の森市民センター	19
ひまわり	貝ヶ森市民センター	9
コスモス文庫	大沢市民センター	15
葉の会	落合市民センター	12
（個人登録）	中山市民センター	6
図書ボランティアたんぽぽ	吉成市民センター	10
図書ボランティア	木町通市民センター	8
かすみそう	高砂市民センター	6
しおりの会	岩切市民センター	8
おはなしこぶた	岩切市民センター	3
図書ボランティア「もくれんの会」	鶴ヶ谷市民センター	12
ターンぽぽ	東部市民センター	8
図書ボランティアサークル「ひまわり」	幸町市民センター	8
（グループ名なし）	田子市民センター	1
（個人登録）	田子市民センター	1
（個人登録）	七郷市民センター	7
図書ボランティアみちくさ	荒町市民センター	9
（個人登録）	沖野市民センター	7
ブックスフレンド中田	中田市民センター	16
図書ボランティア	西多賀市民センター	17
図書ボランティアコスモス	八本松市民センター	8
八木山図書ボランティア委員会	八木山市民センター	30
図書ボランティア縄文	山田市民センター	9
茂庭台図書ボランティア	茂庭台市民センター	12
（個人登録）	東中田市民センター	7
ブックポケット	柳生市民センター	5
富沢市民センター図書ボランティアの会	富沢市民センター	20
松森市民センター図書ボランティア	松森市民センター	5
ボランティア数計 315名		

(5) 実習受入

○社会教育実習生

東北学院大学、宮城教育大学、東北芸術工科大学からの依頼を受け、各大学の社会教育主事資格取得を目指す学生を社会教育実習生として生涯学習支援センター及び各区中央市民センターで受け入れ、公民館（市民センター）の概要や講座の企画立案・実践について指導した。

- a. 施設実習 H29.8.22（火）～H29.8.27（日）
- b. 施設実習 H29.8.22（火）～H29.8.29（火）
- c. 講座実習 H29.11～H29.12
- d. 実習報告 H30.2.6（火）

実習生 東北学院大学 17名(a, c, d), 宮城教育大学 5名(a.のみ),
東北芸術工科大学 3名(b.のみ)

○大学生施設見学（生涯学習支援センター）

大学の授業の一環として施設見学を受け入れ、市民センター業務について学ぶ機会を提供した。

聖和短期大学…… 25名ほか

○インターンシップ（各区中央市民センター）

大学生が市民センター事業や来館者との交流等を通じて、社会人としての実践的なスキルを身につけるとともに就職活動の参考となるよう、実習生を受け入れ指導した。

宮城大学…… 4名ほか

○児童・生徒の職場体験実習

小学生、中学生の職場体験実習を受け入れ、市民センター業務について学ぶ機会を提供した。

《生涯学習支援センターの受け入れ実績 小学校（1校31名）、中学校（4校16名）》

【中学校職場体験】

仙台市立八木山中学校…… 5名
仙台市立岩切中学校 …… 3名
仙台市立中野中学校 …… 5名
仙台市立五橋中学校 …… 3名

【仙台市立榴岡小学校】

第4学年総合的な学習の時間「弟子入り留学」… 6名
第2学年生活科「まちたんけん」…………… 25名

※ 各区中央市民センター（拠点館）においても、同様に児童・生徒の職場体験実習を受け入れている。

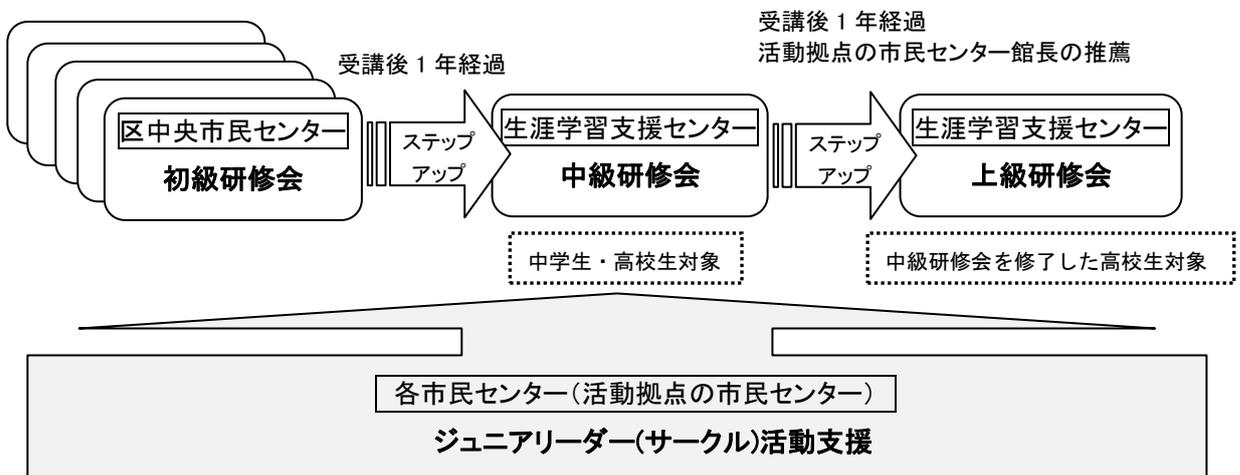
4 ジュニアリーダー

ジュニアリーダー育成・支援

ジュニアリーダーとは、青少年ボランティア活動の一環として、仙台市教育委員会の支援を受け、各市民センターを拠点として活動している中学生・高校生のことである。

ジュニアリーダーの主な活動内容は、地域の子ども会活動を活性化するための支援であり、この活動を通して、地域全体の活性化に貢献している。また、子どもを対象としたイベントの企画・実施や、様々なボランティア活動にも積極的に取り組んでおり、ジュニアリーダー自身の人格形成に生かされている。

ジュニアリーダーを育成するために、各区中央市民センターにおいて初級研修会（初心者を対象）、生涯学習支援センターにおいて中級研修会・上級研修会（ステップアップ研修）を実施している。さらに、ジュニアリーダーの活動の拠点となっている市民センターにおいては、活動の支援に加え、ジュニアリーダーを指導者とした事業も行っている。



【ジュニアリーダーサークルの主な活動】

- 自主企画(ジュニアと遊ぼう、交流会など)、定例研修会及び連絡会、各種研修会の実施
- 子ども会、市民センター、その他の機関からの要請による活動
 - ・子ども会行事の実施及び企画の補助
 - ・区民まつりへの参加
 - ・市民センター事業への補助
 - ・児童館行事のスタッフ など

○ジュニアリーダー初級研修会

各区中央市民センターを会場に、ジュニアリーダーとして必要となる基本的な知識や技術を習得するための研修を行った。対象者は、「新たにジュニアリーダーを志す中学生・高校生」とした。

本研修会は、ジュニアリーダー活動の理念に触れ、興味・関心を高めるとともに、現ジュニアリーダーとの親睦を図り、今後の活動への意欲を持たせることを中心に実施した。

【平成 29 年度実績】

主催館名	開催日	受講者
青葉区中央市民センター	7月2日(日)	43
宮城野区中央市民センター	7月30日(日)	14
若林区中央市民センター	12月10日(日)	13
太白区中央市民センター	7月1日(土)	18
泉区中央市民センター	11月26日(日)	41

○ジュニアリーダー中級研修会

＜生涯学習支援センター＞（共催：仙台市嘱託社会教育主事研究協議会）

地域の子ども会活動の活性化と、青少年のボランティア活動を積極的に推進するための研修を行った。

対象者は、「初級研修会を修了し、引き続きジュニアリーダーとして活動を行っている中学生及び高校生」で、かつ、「活動拠点となる市民センターの推薦を受けた者」とした。

本研修会は、ジュニアリーダーとして必要となるより専門的な知識と技術の習得を中心とした内容で実施した。

○55名受講 8月11日(金)、12日(土) 会場：生涯学習支援センター

研修内容「今、ジュニアリーダーに必要なものとは?」、「要請の受け方」、「子どもを引き付けるコツとは?」、「要請のプログラムを作成しよう」、「要請のプログラムを実践しよう」

○ジュニアリーダー上級研修会

＜生涯学習支援センター＞（共催：仙台市嘱託社会教育主事研究協議会）

青少年のボランティア活動と地域の子ども会活動の一層の振興を図るために、仙台市ジュニアリーダー全体をまとめ、リードする立場にある高校生ジュニアリーダーの資質向上と技能の研鑽のための研修を行った。

対象者は、「中級研修会を修了し、引き続きジュニアリーダーとして活動している高校生または高校生の年齢に相当する者」、かつ、「活動実績・資質ともに上級リーダーとして適格であり、活動拠点となる市民センターの推薦を受けた者」とした。

本研修会は、野外活動のスキルアップを中心とした内容で実施した。

○21名受講 7月15日(土)、16日(日) 会場：仙台市立上野山小学校

研修内容：「リーダーとしての役割と心構え」、「よりよいサークル運営」、「キャンプファイヤーのコーディネート仕方」、「テント設営」、「野外活動と安全」、「テントのしまい方」

○ジュニアリーダー実践研修会

＜生涯学習支援センター＞（共催：仙台市嘱託社会教育主事研究協議会）

上級研修会の伝講の場として、上級認定者が講師となり、未認定者に対して野外炊飯やキャンプファイヤー等の野外活動のスキルアップを図った。併せて、5区のジュニアリー

ダーが交流を深め、幅広い視野や責任感を持って地域で活動できるリーダーとしての資質向上・技術向上のための研修も行った。

対象は、各地区館が支援するジュニアリーダーサークルに所属している全ジュニアリーダーとし、単位等を認定する研修会ではないことから、部分的な参加も認めた。

28名受講 9月17日(日), 9月18日(月・祝) 会場: オーエンス泉岳自然ふれあい館

研修内容: 「テントの設営」, 「ダンス研修」, 「キャンプファイヤー」, 「野外炊飯」

【ジュニアリーダーサークル及び活動拠点館一覧】(平成30年3月現在)

区内連絡会	No	サークル名	登録数	活動拠点館名
青葉区 (103名) 連絡会『星のすなごけい』 (青葉区中央市民センター)	1	MRVC くまっこ	32	広瀬市民センター
	2	かめ吉	16	福沢市民センター
	3	朝実巣あかよぼく	16	北山市民センター
	4	Colors	5	旭ヶ丘市民センター
	5	SKY	21	中山市民センター
	6	みずの森ーダー' S	12	水の森市民センター
	7	Blue Leaf Spirits	5	青葉区中央市民センター
宮城野区 (56名) 連絡会『Lovers』 (宮城野区中央市民センター)	1	高砂フレンズクラブ	9	高砂市民センター
	2	岩切ガンキリーズ	9	岩切市民センター
	3	鶴ヶ谷 Yourself	8	鶴ヶ谷市民センター
	4	幸町 Fortune	6	幸町市民センター
	5	With Us 宮城野	24	宮城野区中央市民センター
若林区 (59名) 連絡会『田んぼっ区』 (若林区中央市民センター)	1	郷郷七郷	14	七郷市民センター
	2	六郷村	10	六郷市民センター
	3	ビ野沖ヲ	2	沖野市民センター
	4	JARO	11	若林区中央市民センター
	5	ワンマイル荒町	11	荒町市民センター
	6	若林にゃくりん	11	若林市民センター
太白区 (62名) 連絡会『ANON』 (太白区中央市民センター)	1	なかだかな	16	中田市民センター
	2	おいでください	0	生出市民センター
	3	ジュニアリーダーサークル Green Powers	0	秋保市民センター
	4	にしたがつつまん	15	西多賀市民センター
	5	ながまっくる	24	太白区中央市民センター
	6	moni-s ※平成28年度末に発足	7	茂庭台市民センター
泉区 (155名) 連絡会『ざわざわ森』 (泉区中央市民センター)	1	黒松ファミリー	5	黒松市民センター
	2	南光台アドバルーン	17	南光台市民センター
	3	もみの木カリヨン	6	根白石市民センター
	4	向陽台ばびふべパレット	0	松陵市民センター
	5	将監くれよん	21	桂市民センター
	6	南中山菓子つぶ	22	南中山市民センター
	7	高森流星サークル	7	高森市民センター
	8	寺岡流星サークル	12	寺岡市民センター
	9	七北田 JL サークルありす	23	泉区中央市民センター
	10	みちのく松陵	20	松陵市民センター
	11	加茂プレゼント	6	加茂市民センター
	12	パズル鶴が丘	4	松森市民センター
	13	根住 s	12	根白石市民センター
市全体 (445名 / 34サークル) 仙台市連絡会『ずんだ』(生涯学習支援センター)				

5 地域社会教育推進

(1) 学びのコミュニティづくり推進事業

<生涯学習支援センター>

地域の共有財産である学校や市民センターなどを核として、町内会や老人クラブなどの従来の地縁的な関係に「学習」「趣味」「企業」「NPO」「ボランティア」などの縁を加え、様々なネットワークを緩やかにつなぐことによって、子どものすこやかな育ちを支援する多様な人間関係を地域に育て、学校・家庭・地域社会がそれぞれ持つ教育機能を相乗的に発揮させることを目指している。

平成13年度に事業を開始。平成29年度は、事業委託した7団体と3年の委託期間が終了した後も自主的に活動を継続している27団体と合わせて計34団体が活動した。

区 分	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
委託団体数（うち新規委託団体数）	5(2)	8(4)	8(2)	7(1)
委託期間終了後の活動継続団体数	24	24	25	27
合計	29	32	33	34

《平成29年度の委託団体》7団体

団体名	区	学校区	ねらい・概要	委託状況
八木山おやじの会	太白	八木山小	小学校、PTA、おやじの会が連携し、児童参加の行事を開催することにより子どもとのつながりを強め、参加する全ての人の喜び・楽しみを達成し、地域全体で子どもの安全を見守る事を目的として、お泊まり会や餅つき大会を実施。	新規
住吉台小学校おやじの会	泉	住吉台小	学校、PTA、児童センター、地域と連携しながら、それぞれの行事に協力・参加するなど、子どもたちのために活動を行った。	2年目
田子っこ学びのコミュニティ推進委員会	宮城野	田子小	田子小学校おやじの会が中心となり、野外活動、昔遊び体験、防災訓練を兼ねた夜の校内探検などを通じて、健やかな育ちへの支援と多様性あるコミュニティづくりを目指した事業を行った。	〃
森の応援団 愛子ハグリップ	青葉	愛子小 錦丘小	地域、学校、PTAが、子どもの森での授業や、親子体験活動をサポートすることで、互いの活性化を図った。	3年目
楽コミ金剛沢おやじっ子推進委員会	太白	金剛沢小	「大人(おやじ)たち」がこれまで得てきた経験・知恵を出し合って地域・社会の宝である「子どもたち」と一体となる「楽しい活動」を積み重ねることにより、子どもたちと共に学び、豊かな人間関係を築きながら、生き生きとした地域づくりに関わるさまざまな活動を行った。	〃
坪沼スポーツ振興会	太白	生出小学校区の一部	坪沼地区の小学生から大人まで、地区住民全員の体力維持・増進と地域コミュニティの活性化をねらいとして、スポーツに関わる事業を実施した。	〃
未来っこ桂	泉	桂小	委員会を構成する団体のネットワークを活かし、こども対象の体験型の事業を実施し、「桂が故郷」という思いを育み、子どもたちの健やかな成長を支援することをねらいとし、地域内の他団体や個人の理解と賛同を得て、子どもたちの学びをとおした地域コミュニティの広がりを目指した活動を実施した。	〃

《委託終了後も自主的に活動を行っている団体》 27 団体

No.	団体名	区	学校区	委託終了年度
1	まちがっこ推進委員会	青葉区	東二番丁小	平成 15
2	榴岡かいわい学びのコミュニティ推進委員会	宮城野区	東華中 宮城野中	〃
3	ながまち学びネット推進委員会	太白区	長町中	〃
4	ふれあい学びネットい・ず・み推進委員会	泉区	七北田中	平成 16
5	松陵っ子, 土っと来い!	泉区	泉松陵小	〃
6	かみすぎねっと	青葉区	上杉山通小	平成 18
7	作並学びのコミュニティ推進事業実行委員会	青葉区	作並小	〃
8	パパネット南小泉推進委員会	若林区	南小泉小	平成 19
9	まなこみネット鶴が森 II	泉区	鶴が丘中	平成 21
10	ひがろく おやネット推進委員会	若林区	六郷小学校 区の一部	平成 22
11	将監こども楽校推進委員会	泉区	将監小	〃
12	旭ヶ丘わんぱく森 ² がっこ推進委員会	青葉区	旭丘小	平成 23
13	上愛子学びのコミュニティづくり推進委員会	青葉区	上愛子小	〃
14	「西山っ子ニコニコ楽校」	宮城野区	西山小	〃
15	通学合宿連坊実行委員会	若林区	連坊小路小	〃
16	まなびネット「いずみ中山」	泉区	南中山中	〃
17	五城学区地域連携教育推進委員会	青葉区	五城中	平成 24
18	福室学びのコミュニティづくり推進委員会	宮城野区	福室小	〃
19	「がんばれ秋保っ子」推進委員会	太白区	秋保中	〃
20	チームやかたプロジェクト推進委員会	泉区	館中	〃
21	カモンレインボープラン推進委員会	泉区	加茂中	〃
22	おいで里ネット	太白区	生出中	平成 25
23	川平学びのミュージアム	青葉区	川平小	平成 26
24	袋原中学校学区学びのコミュニティ推進委員会	太白区	袋原中	平成 27
25	ロングライフヒルコミュニティ協議会	泉区	長命ヶ丘中	〃
26	学コミ「中野栄楽舎」	宮城野区	中野栄小	平成 28
27	山ガキ隊わくわく学校推進委員会	太白区	山田中	〃

(2) 学びのコミュニティづくり推進事業支援等

「学びのコミュニティづくり推進事業」の委託団体及び、3年間の委託期間終了後も自主的に事業を実施している団体に対して、活動支援を行った。

○実施団体連絡会

＜生涯学習支援センター＞

委託期間が終了した後も自立した活動を行っている 27 団体を含め、事業実施団体連絡会による研修会を開催し、団体相互の情報共有を図った。

開催日時	内 容	受講者
2.24(土) 14:30～16:50	事例発表「川平学びのミュージアム推進委員会」 川平学びのミュージアム推進委員会事務局長 牧 靖子 氏 講話「助成金について～思いをカタチにして～そこから【人材育成・組織基盤強化】につなげる」 (一社)みやぎ連携復興センター常務理事・事務局長 千葉 富士男 氏 情報交換	12

【委託終了後の事業に対する継続的支援等】

館名・事業名	概要	実施回数	延参加者
青葉区中央市民センター			
まちがっこ (No.1)	東二番丁小学校・幼稚園をはじめ、青葉区中央市民センター周辺の関係団体等との連携により、子どもの健やかな育ちに資する事業を実施した。 ・花のあるまちづくり ・5月,10月 ・どろんこ遊び ・6月	2 1	
かみすぎねつと (No.6)	上杉山通小学校区の学校関係団体・地域団体等との連携により、子どもの健やかな育ちに資する事業を実施した。 ・6月17日 上杉地区大運動会 ・7月29日～30日 Gakkouへ泊まろう ・8月19日 上杉地区夏まつり ・9月12日 世界の音楽～馬頭琴～ ・9月23日 おもしろ子ども会 ・11月15日 上杉地区防災訓練 ほか	1 1 1 1 1 1	
旭ヶ丘わんぱく森 ² がっこ (No.12)	旭ヶ丘小学区の学校関係団体・地域団体等との連携により、子どもの健やかな育ちに資する事業を実施した。 ・4月～11月 森 ² ファーム ・6月24日 旭ヶ丘ホテルまつり参加 ・7月22日 旭ヶ丘夏まつり参加 ・森林太鼓隊 ほか	1 1 7	34
川平学びのミュージアム (No.23)	川平小学校区の学校関係団体・地域団体との連携により、子どもの健やかな育ちに資する事業を実施した。 ・4月29日～11月25日 白菜ミュージアム ・7月15日～16日 親子ふれあいワクワクキャンプ ・10月14日 川平フェスタ	4 1 1	
宮城野区中央市民センター			
榴岡かいわい学びのコミュニティづくり推進事業 (No.2)	仙台駅東口かいわいの幼児、小学生を対象として遊びの広場を提供した。また、地域の住民や中学生、ボランティア等の参加も促し、異世代間の交流を図った。 ・8月26日第17回つつじがおかワイワイ夏まつり ・1月20日第11回つつじがおかワイワイ冬まつり	9	930
若林区中央市民センター			
南小泉子どものふるさとづくり推進事業 (No.8)	学びのコミュニティづくり推進事業で立ち上げた「南小泉パパネット」が南小泉小学校の児童や保護者を対象に実施する事業への支援を行った。 ・7月29日 なつなつ南小 ・9月24日 あきあき南小 ・1月20日 ふゆふゆ南小	3	268
区内小学校合宿等支援 (No.15)	学びのコミュニティづくり推進事業から続く「通学合宿！連坊！」など区内小学校の合宿等の事業を支援した。 ・7月29～30日 学校に泊まろう会（六郷小） ・8月19～20日 キャンプ in 南材（南材木町小） ・10月4～6日 通学合宿！連坊！（連坊小路小）	4	320

若林小あそび場支援	若林小学校を中心に放課後の児童に小さな冒険を秘めた遊びの場をつくる「若林小あそび場」の活動(概ね月1回開催)を、関係団体、若林児童館、若林市民センター、ボランティアとともに支援した。	11	1,030
太白区中央市民センター			
秋保地区学びのコミュニティ推進事業推進委員会(がんばれ秋保っ子)(No.19)	秋保中学校区の各団体と協力して事業を実施することで地域全体で子どもを育てていくきっかけをつくった。 ・10月15日 キックベースボール大会(参加者 小中学生 38名) ・1月13日 秋保カルタ大会(参加者 100名) ・秋保地区行事カレンダー作成	5	175
ながまち学びネット(No.3)	長町中学校区(長町小・長町南小・鹿野小学校区)内児童・生徒や保護者、地域住民とともに、子どもたちの健全育成を目的とした参加体験型の活動を行い、地域コミュニティを深めていく。 ・9月9日 こども防災キャンプ(参加児童 34名)	5	152
泉区中央市民センター			
区内学コミ連絡会	区内で活動している各学コミ委員会と情報を共有し、学コミの活動の促進ならびに拡大を図った。 ・6月10日 第1回連絡会(年間計画、情報交換)	1	21
ふれあい学びネットい・ず・み推進委員会(No.4)	七北田中学校区内の諸団体が連携し、青少年健全育成事業の展開を図るとともに、子どもの居場所づくり事業について協議、企画、実施した。 ・7月8日 七小ゆめフェスティバル ・8月4日～8月5日 キャンプだホイ!2017in 野村 ・11月18日 市小カーニバル ・2月18日 あそびの天国 2018	11	230
		1	235
		1	140
		1	521
		1	350

(3) 地域情報発信サポーター養成・活動支援

<生涯学習支援センター>

○地域情報発信サポーター講座

地域情報発信サポーターのスキルアップと新規メンバーの募集を図るための講座「トライ！情報発信」を実施した。

回	開催日	概要	受講者
1	2月27日(火) 14:00～16:00	◎講話「取材を成功させる10の法則、確かな記事を書く10の鉄則」 講師 河北新報社記者 大泉 大介 氏	10
2	3月6日(火) 14:00～16:00	◎合評会1 講師 河北新報社記者 大槻 俊順 氏, 大泉 大介 氏	10
3	3月13日(火) 14:00～16:00	◎合評会2 講師 河北新報社記者 大槻 俊順 氏, 大泉 大介 氏	10

○地域情報発信サポーター活動支援

平成28年度地域情報発信サポーター養成講座の修了者が自主サークル「仙台おもしろ発見隊」として活動を継続, 18回(延56名)の活動を行い, リフレット「地域のなかまたち」第2号, 第3号を作成し, 市民センター等へ配布した。円滑な活動により効果的な情報発信が行われるよう, 支援を行っていく。

6 学習情報提供

(1) 学習情報レファレンスシステム・市民センターホームページの運営

<生涯学習支援センター>

市民の学習意欲に応え、的確な情報提供サービスを展開することで、効果的に市民の学習活動を支援するため、生涯学習支援センターと市民センターをインターネット回線で結び、生涯学習に関するより新しい情報を提供するとともに、市民の学習相談に応じることを目的として平成12年3月より運営している。

平成26年11月にシステム機器を更新し、新たな「市民センターホームページ」と「学習情報データベース」の運用を開始した。新たなホームページでは、各市民センターの情報を統合して表示したり、講座の開催日を検索しやすくするなどの手法により、市民により分かりやすいページ構成とした。また、スマートフォン・タブレット等でも閲覧可能となっている。

市民センターホームページの URL <http://www.sendai-shimincenter.jp/>

【平成29年度末 仙台市学習情報レファレンスシステム登録情報数】

情報種類	平成29年度末現在
団体・サークル情報	2,703
人材・講師	10,668
事業	5,037
合計	17,666



QRコード

【平成29年度 市民センターホームページアクセス件数】

閲覧ページ数	857,528	一日あたりの閲覧数	2,350
概算訪問者数	620,915	一日あたりの訪問者数	1,701



(2) 市民センター事業ガイド

<生涯学習支援センター>

講座等参加者の募集中、募集予定がある事業について、区ごとにまとめ、毎月1回発行して、市民への情報提供を行った。市民センターホームページでも公開を行っている。

(3) 「学都仙台サテライトキャンパス」支援等

<生涯学習支援センター>

大学等の高等教育機関の連携組織である「学都仙台コンソーシアム」（平成18年設立）のうち「サテライトキャンパス部会」（大学等数）で実施する公開講座「学都仙台サテライトキャンパス」（69講座実施，2,078名受講）や部会構成校が独自に実施する市民向け公開講座について、市民が円滑に講座を受講できるよう、広報及び情報提供等の支援を行った。

市政だより：5月号，6月号，8月号，9月号，10月号，11月号，12月号，1月号

(4) その他の学習情報提供事業

○学習情報提供システム操作研修

<生涯学習支援センター>

市民センター職員を対象に、市民センターで開催する講座の案内情報を学習情報データベースに登録し、その後 CMS でホームページの記事を作成して公開することが支障なくできるよう、学習情報システムの操作研修を開催した。

受講対象	概 要	受講者
市民センター職員	5/25 ①9:30～12:30 ②5/25 14:00～17:00 5/26 ③9:30～12:30 ④5/26 14:00～17:00 ◎学習情報システム (CMS・データベース) の操作研修 講師 (株)インターネットイニシアティブ 村井 祐介 氏	55

○若林区の映像保存・活用事業

<若林区中央市民センター>

実施日等	概要
通年	震災からの復興への取り組みや豊かな地域資源、史跡・旧跡の残る街並みなど区内の様子をボランティアが撮影し、市政だよりの若林区のお知らせのページに「若林の点描」として掲載したほか、これらの写真のパネル展示を区役所などで開催した。

7 各区中央市民センター事業

(1) 嘱託社会教育主事研究協議会区部会との共催事業

嘱託社会教育主事（社会教育主事資格を持ち学校に在籍している教員）研究協議会の各区部会と各区中央市民センターの共催による事業を通して、子ども達の健全育成や地域コミュニティの活性化を図り、地域で子どもを育てる環境づくりを推進した。

館名	内容	実施回数	参加者
青葉区中央市民センター	6月29日 青葉区社会教育推進連絡会研修会 7月2日 ジュニアリーダー初級研修会 9月3日 子ども会対象事業 「青葉チャレンジキッズ in 科学館」 11月25日 家庭教育講座 「チアリーダーから教わる心&身体リフレッシュ講座」 ～親子で楽しむ！スマイル！エクササイズ～	4	335
宮城野区中央市民センター	6月29日 宮城野区社会教育推進連絡会研修会 7月15日 「七北田川でEボートに乗ろう」 7月30日 宮城野区ジュニアリーダー初級研修会・交流会 11月22日 嘱託社会教育主事・地域連携担当職員・市民センター職員研修会 12月16日 インリーダー研修会事前打合せ会 1月～2月 インリーダー研修会	14	約600
若林区中央市民センター	11月23日 ものづくり体験教室 (クッキーづくり, 農家レストラン料理, 生け花づくり, 染め物づくり, 革細工づくり) 8月23日 若林区地域学校連携推進会議 12月10日 ジュニアリーダー初級研修会 1月7日 インリーダー研修会事前打合せ兼研修会 2月3, 10, 17日 インリーダー研修会	9	約500
太白区中央市民センター	6月2日 第1回太白区内地域連携ネットワーク会議 7月1日 ジュニアリーダー初級研修会 7月28日 第2回太白区内地域連携ネットワーク会議 6月～1月 太白区内地域連携ネットワーク事業 各地区ごと19事業を実施 11月25日 長町秋のフェスティバル(協力事業) 12月9日 インリーダー研修会事前打合せ会 1月～2月 インリーダー研修会(各市民センター)	160	約8,000
泉区中央市民センター	5月～2月 泉区の世界教育を考える会(6回) 6月28, 29日 泉区地域と学校をつなぐ研修会 7月22日 長谷倉川と遊ぼう！下見 ※29日 事業当日は雨天のため中止 8月11日 蒲生干潟で見つけよう！ 10月11日 地下鉄東西線親子で体験ツアー 11月26日 泉区ジュニアリーダー初級研修会 12月16日 第11回みんなでジャンプ 7月～2月 インリーダー研修会(22回中18回)	30	約2,000

(2) インリーダー研修会

子ども会活動の充実を図るため、子ども会のリーダーとして活躍する児童及び世話人を対象に、子ども会活動についての知識やレクリエーションなどの実技を学習するための研修会を実施した。

【平成 29 年度実績】

区	開催回数	延受講者
青葉区	9	522
宮城野区	9	363
若林区	6	346
太白区	11	591
泉区	22	1,230
合 計	57	3,052

(3) 学習成果社会還元事例研究

◎事業例 まなびごっこ

〈若林区中央市民センター〉（148 回実施 延参加者：2,229 名）

若林区内で活動する生涯学習指導者ボランティアグループ「まなびごっこ」がこれまでに培った知識や技術を生かして、当センターと共催で誰でも参加しやすい内容の講座・教室（男の料理教室、女性のための囲碁教室、映画上映会など 13 種類）を開催した。

(4) 生涯学習研究事業

◎事業例 泉区の社会教育を考える会

〈泉区中央市民センター〉（事業検討 6 回、事業 7 回実施 延参加者：119 名）

区内の社会教育について、区内囑託社会教育主事と協働し、既存の事業の見直しや、新たな事業方法の研究開発を行った。また、その事業を実施検証し、社会教育事業の新たな展開の可能性を探り、泉区の社会教育事業について活性化を図った。

(5) 秋の子どもの日事業

秋休み期間中の子どもの居場所づくりとして、子ども向け事業を実施した。

開催日	主催館名	内容	参加者
10月9日（月）	若林区中央市民センター	秋の子どもの日「ワカチュウ子どもランド」小学校の秋休みに合わせて、工作、茶道などの体験の場や、遊びのコーナーを提供した。また、仙台東高校マジック部によるマジック教室や影絵おはなし会と影絵ワークショップを実施した。	400

(6) その他の主な事業

館名	事業名	内容	開催回数	参加者
青葉区中央市民センター	子どものための日本語講座	日本語を母語としない小学生、中学生に日本語を学習する機会を提供し、充実した学校生活を送れるように支援している。	34	497
	せんだい日本語講座	在仙の外国人等に、日常生活に必要な日本語習得の機会を提供するとともに、日本の伝統文化に触れ交流する場を設定することで、国際交流や多文化理解を促進している。	680	7,263

館名	事業名	内容	開催回数	参加者
宮城野区 中央市民 センター	宮城野学講座	市民企画員を中心に、宮城野の風土や文化について、より広く知られ、後世に継承していけるようにするための講座を年間2回開催した。また活動成果をセンターまつり等を通して行った。	2	200
	宮城野カルタ	郷土愛に満ち、多くの世代が交流できる「宮城野かるた」の制作を行った。読み札は、一般市民や来館者の方を中心に、また絵札は宮城野高校美術科の生徒に作成してもらった。3月には、完成したカルタの披露会を行った。	5	91
若林区 中央市民 センター	家庭教育講座	未就学児の保護者、子育てに関心のある方を対象に「子育てにおける子どものかかわり方」をテーマに宮城県生涯学習課の協力を受け、ワークショップ宮城県版親の学びのプログラム「～十人十色の子育て&親育ち～親のみちしるべ～」を活用して実施した。	2	24
	朗読劇「語り継ぐ震災の記憶」	東日本大震災の発生から7年目を迎えるにあたり、あらためて当時の記憶を風化させない取組みの一環として、沿岸部で被災された方々から聞き取りを行ってまとめた冊子「語り継ぐ震災の記憶」をもとに台本化した朗読劇を開催した。	1	120
	六郷・七郷を訪ねる会	震災の記憶をとどめるとともに復興を支援するきっかけとしてもらうため、六郷・七郷地域を市民がバスで巡り、地域の状況を見聞きする機会を設けた。	1	28
	バリアフリースポーツ「ボッチャ」普及事業	年齢・性別・障害の有無に関わらず楽しめるスポーツ「ボッチャ」を体験できる場として、月1回の定例会及び年1回の大会を開催した。	12	305
	「ボッチャ」とおした区民地域交流促進事業	障害の有無や体力・体格差などに関係なく一緒に実践できるスポーツ「ボッチャ」を活用し、地域間交流や世代間交流を図ることを目指し、区内市民センターと連携して「ボッチャ」を活用した講座の開催のほか、地域への出前講座として「ボッチャ交流会」を開催した。	8	139
太白区 中央市民 センター	長町・あすと長町地域活性化事業	太白地区住民を対象に長町秋のフェスティバルと題して「食」・「スポーツ」・「芸術」をキーワードに『なわとび・綱引き大会』『親子 de スポ-ツ』『各種スポーツ体験』を行った。また各種店舗が集まり『長町マルシェ』を開催した。	1	5,569
泉区中央 市民セン ター	団体長縄跳び競争「第11回みんなでジャンプ！シェルコム大会」	区内の小学生を対象に、冬場の体力づくりと地域間交流、世代間交流を図る目的で長縄跳び大会を開催した。	1	586

8 生涯学習事業研究

生涯学習事業の現代的課題について、具体の先進的事業の事例研究として「調査」・「研究」・「分析評価」・「成果の活用」等を実施する。

(1) 事例研究

「学びのまち・仙台 市民カレッジ事業」先進事例調査・視察

学びのまち仙台市民カレッジ事業や施設運営等について、同様の事業で先進的な取り組みを行っている自治体に赴き、次年度の事業計画や今後の事業のあり方の検討に役立てるため、市民向け講座、学校等との連携、学びの履歴パスポート等について聞き取りや施設の視察を実施。

○日時・視察先	2.8(木) 13:30～15:30	神戸市生涯学習支援センター（コムスタこうべ）
	2.9(金) 10:00～11:00	キャンパスプラザ京都（大学コンソーシアム京都）
	〃 14:30～16:00	京都アスニー（京都市生涯学習総合センター）

(2) 第39回全国公民館研究集会・第62回東北地区公民館大会 宮城大会

全国各地から広く社会教育及び公民館関係者が集い、日頃の社会教育活動や災害からの復興に向けての活動情報や研究成果を学び合った。本市では全大会の他、第3～第5分科会を担当。

○研究主題：：未来へつなぐ宮城の大切なもの～子どもから大人までみんなでまなび、みんなでつくる～

開催日時・会場	概 要	参加者
全大会 10.30(月) 13:00～19:30 仙台国際センター	<ul style="list-style-type: none"> ・開会行事・表彰 ・記念講演「出会いに感謝」講師：みやぎ絆大使 中村雅俊 氏 ・アトラクション「ふるさと宮野森太鼓」演奏：東松島市立宮野森小学校5・6年生 ・次期開催県挨拶・情報交換会 	896
第3分科会 10.31(火) 9:30～12:00 仙台国際センター	<p>テーマ「公民館におけるアクティブシニアの学びと知の還元のあり方」</p> <p>ねらい：世代間で交流することの良さについて、学びを深める 世代間交流を促すために、公民館が果たすべきコーディネートのあり方を探る 世代間交流を通して、高齢者の学びを地域に還元する方策を探る</p> <p>基調講演講師・コーディネーター：白梅学園大学名誉教授 草野 篤子 氏 「世代間交流がひらく公民館の新しい未来～すべての世代が活躍できる地域社会を～」</p> <p>発表者：秋田県北秋田市教育委員会生涯学習課 主幹兼係長 松田 淳子 氏 「ひらく×つなぐ×むすぶ@北秋田市“おらほの地域応援隊！”の試み」 会津若松市南公民館 館長 伊藤 卓 氏 「地域の『人財』として期待されるアクティブシニア～門田流地域づくり～」</p>	74
第4分科会 10.31(火) 9:30～12:00 仙台国際センター	<p>テーマ「子ども・若者の社会参画と公民館のあり方」</p> <p>ねらい：公民館における子ども・若者の社会参画の意義と公民館職員による支援のあり方を探る 子ども・若者と協働していく際の学校等との連携のあり方について探る 子ども・若者から大人への連続性を見通した人材育成の方法について探る</p> <p>発表者：島根県松江市鹿島公民館 主任 池田 俊貴 氏 「たまゆメンバーズくらぶ（たまめん）」の取組 仙台市宮城野区中央市民センター 主査兼社会教育主事 千葉 完 氏 「原町キッズもりあげ隊」の取組</p> <p>コーディネーター：東北学院大学教養学部長 水谷 修 氏</p>	102
第5分科会 10.31(火) 9:30～12:00 仙台国際センター	<p>テーマ「公民館の存在意義を問う」</p> <p>ねらい：地域・社会の要請に合った公民館の役割について考える 市民にとって必要な公民館とは何かについて考える これからの公民館職員はどうあるべきかについて考える</p> <p>基調講演講師 NPO 法人教育支援協会代表理事 吉田 博彦 氏 「公民館のこれからの使命」</p> <p>発表者：名取市教育委員会生涯学習課主査 中山 透 氏 「地域にとって必要な公民館とは？ ～市民とともに考えるワークショップを通して～」</p> <p>コーディネーター：東京大学大学院教育学研究科教授 牧野 篤 氏</p>	128

9 仙台市公民館運営審議会

社会教育法第29条、仙台市市民センター条例第13条に基づき、市民センターにおける各種の事業の企画実施につき調査審議を行う、本市が設置するすべての市民センターに共通の公民館運営審議会として設置している。

現委員は15人で、任期は平成29年11月1日から平成31年10月31日までの2年間となっている。

【委員名簿】 [平成30年8月1日現在]

氏名	職業または所属団体
相澤 雅子	仙台市立南小泉中学校学校支援地域本部 スーパーバイザー
市瀬 智紀	宮城教育大学教員キャリア研究機構 教授
幾世橋 広子	仙台市社会学級研究会 顧問
黒澤 陽子	仙台ワーキングマザーの会 代表
○ 小岩 孝子	NPO 法人 FOR YOU にこにこの家 理事長
小地 沢 将之	仙台高等専門学校総合工学科 准教授
◎ 佐藤 直由	東北文化学園大学医療福祉学部 教授
佐藤 由美	仙台市立吉成小学校 校長
庄子 清史	公募委員
菅澤 彩香	公募委員
傅野 貞雄	仙台市連合町内会長会 庶務理事
中山 聖子	キャリア教育コーディネーター
松田 道雄	尚綱学院大学 エクステンションセンター長
吉田 祐也	学校法人尚綱学院 職員 日本ファンドレイジング協会東北チャプター運営委員
渡辺 博	仙台市議会 議員

◎：会長 ○：副会長 敬称略・50音順

【近年の審議内容(平成15年度～平成29年度)】

提出日	種別	テーマ(題名)	主な内容
平成15年 10月7日	提言	市民センターにおける子どもの事業のあり方について	1 審議会における検討の過程 2 子どもの事業に取り組む課題と視点 3 ジュニアリーダーの育成と活動支援 4 学社連携・融合事業について 5 学校週5日制に対応した事業について
平成17年 9月12日	提言	市民センターにおける市民参加と市民協働の推進について	1 市民参加と市民協働の課題 2 市民センター運営における市民参加について 3 市民企画委員によるプログラムづくりについて 4 市民参加を広げる事業活動をめざして
平成19年 10月30日	答申	市民センターの施設理念と運営方針の見直しについて	1 見直しの背景 2 見直しにあたっての考え方 3 市民センターの施設理念と運営方針

提出日	種別	テーマ(題名)	主な内容
平成 21 年 10 月 13 日	報告	審議の経過報告	1 今期審議会のテーマ設定と議論の経緯について 2 経過報告のまとめについて ＜これまでの審議内容(各委員の意見)の概要＞ 1 市民センターの区への移管について 2 連携事業の調査からみえてきたもの ＜市民センターが大切にしてきた社会教育の価値とは＞(梨本雄太郎委員) ＜区行政との「融合」をめぐる＞(石井山竜平委員)
平成 22 年 3 月 16 日	意見	「次期行財政改革計画(素案)」に対する意見書	区役所への移管については課題や懸念があることから、それらを解決・解消した上で判断するべきと考える。
平成 22 年 8 月 31 日	提案	市民センターを拠点とした新しいまちづくりの提案 —仙台プラン—	＜市民センターを拠点とした新しいまちづくり＞ 1 意識を変える 2 人材発掘・育成とネットワーク化 3 市民の活動の場を生み出し支援する ＜新しいまちづくりに向けた市民センターの新たな一歩/今後の取り組み[提案] / 仙台プラン対応事業案＞ 1 住民参画・問題解決型学習事業 2 子ども参画型社会創造事業 3 学社連携・既存の事業範囲枠を超えた公共施設の連携事業
平成 23 年 1 月 25 日	意見	「市民センターを活かした地域づくりの推進」に関する意見	1 検討の進め方について 2 組織見直しをめぐる課題について
平成 25 年 5 月 31 日	答申	仙台市市民センター事業の評価のあり方について	1 これまでの経緯 2 評価の現状と基本的な考え方 3 本審議会が実施する外部評価 4 本審議会以外が実施する外部評価 5 まとめ
平成 25 年 10 月 26 日	報告	平成 24 年度仙台市市民センター事業評価報告書	1 評価の目的 2 評価の実施 3 評価の結果 4 まとめ
平成 25 年 10 月 26 日	意見	仙台市市民センターの施設理念と運営方針の見直しに関する意見について	1 「仙台市市民センターの施設理念」について 2 「仙台市市民センター事業の運営方針」について 3 「仙台市市民センターの施設管理の運営方針」について 4 東日本大震災を踏まえた内容の見直しについて 5 その他
平成 26 年 7 月 31 日	報告	平成 25 年度仙台市市民センター事業評価報告書	1 評価の目的 2 評価の実施 3 評価の結果 4 まとめ
平成 27 年 8 月 25 日	報告	平成 26 年度仙台市市民センター事業評価報告書	1 評価の目的 2 評価の実施 3 評価の結果 4 まとめ
平成 27 年 10 月 17 日	意見	震災を踏まえた今後の市民センター事業のあり方等について	1 震災後の取り組みの成果と課題 2 今後の市民センター事業に関する委員の意見
平成 29 年 3 月 23 日	報告	仙台市市民センター事業評価報告書	1 評価の目的 2 評価の実施 3 評価の結果
平成 29 年 10 月 23 日	意見	仙台市市民センター事業評価に関する意見について	1 事業評価について 2 事業運営懇話会等について

【審議経過】

開催日	会議種別	協議議題
平成 29 年 5 月 25 日(木)	定例会	報告： ○仙台市市民センター事業評価の実施状況について 審議：
8 月 3 日(木)	定例会	報告： ○市民センター事業運営懇話会等実施状況について 審議：
8 月 24 日(木)	定例会	審議： ○仙台市市民センター事業評価に関する意見について
11 月 9 日(木)	定例会	委嘱状交付式 協議： (1)会長，副会長選出 (2)諮問：「仙台市市民センターの施設理念と運営方針」の見直し（第二次）のあり方について (3)会議の公開，非公開について (4)議事録及び署名人について (5)公民館運営審議会定例会の進め方について
平成 30 年 1 月 18 日(木)	定例会	協議： ○仙台市公民館運営審議会の日程について 報告： ○仙台市市民センターの拠点館事業について
3 月 15 日(木)	定例会	報告： ○平成 30 年度からの市民センター指定管理者について ○公運審意見等の反映について 審議： (1)「施設理念と運営方針」の見直しの基本的方向について (2)評価対象事業について
5 月 17 日(木)	定例会	審議： ○事業評価について
6 月 6 日(水) 6 月 29 日(金) 7 月 4 日(水) 7 月 6 日(金)	臨時会	○事業視察 6/6, 7/4 学びのまち・仙台 市民カレッジ事業 6/29, 7/6 学びを支える人材育成推進事業
8 月 30 日(木)	定例会	審議： ○事業評価について